

岐阜大学 教育推進・学生支援機構年報 第6号 発刊にあたって

岐阜大学教育推進・学生支援機構長 福井 博一

平素は、本学教育推進・学生支援機構の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和2年4月1日をもって東海国立大学機構が設置され、岐阜大学は名古屋大学と共に東海国立大学機構に配置されることとなりました。岐阜大学と名古屋大学では目指すものが異なっているものの、教育として取り組む理念は共通していることから、教育の共通理念として「勇気をもってともに未来をつくる」を掲げ、「考え抜く力」「進める力」「伝える力」を育成するために両大学の教育関係組織を連携させ、この理念に基づいた教育を創造し推進するための組織として『アカデミック・セントラル』を立ち上げました。アカデミック・セントラルでは、両大学で共通する教育課程について協働して企画立案を行い、両大学の教育内容を相乗効果を持って高めていくよう精力的に協議検討を進めています。

アカデミック・セントラルでの名古屋大学との話し合いの中で、岐阜大学での教育や学生支援に取り組む姿勢・考え方に対して改めて自信を持つことが出来ていますが、その一方でまだまだ足りない点についても実感しています。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、なかなか思うような変革ができていない状況ではありますが、本年報は令和元年度中の活動について記録するとともに、機構を中心とした本学教職員の日頃の教育実践や、高等教育に関する学術研究の成果を発表することを目的としています。

このたびの第6号では、各部門の活動報告に加えて、研究論文6本、実践報告5本、そして本学の学部生を対象に毎年開催しております「岐阜大学学生レポートコンテスト」の入賞作品3本を掲載しております。今号もこれまでどおり、インターネット上でご覧頂くオンラインジャーナルとしており、バックナンバーも岐阜大学のトップページから「教育推進・学生支援機構」「年報一覧」とお進みになることでご覧頂けます。

今後とも本学当機構の取組をどうぞよろしくお願い申し上げます。